

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

NPO法人ミライノタネ

・理事会（開催年月日 令和7年4月25日）

開催場所 島根県鹿足郡津和野町河村1159-8

出席者数 3名（理事人数 4名）

議決事項の概要 令和6年度事業決算、次年度の事業計画について

・総会（開催年月日 令和6年4月25日）

開催場所 島根県鹿足郡津和野町1159-8

出席者数 10名（うち表決委任者 3名）／正会員数 10名

議決事項の概要 令和6年度事業決算と、次年度の事業計画について。

1. 事業内容

1.1 子どもの教育・子育て環境の充実を図る事業／地域の資源、特色を活かしたイベントの開催等により観光や中山間地域の発展を図る事業

a. 夏休みサマーキャンプ

毎年夏休みに、小学生を対象として、清流・高津川での川遊びや、キャンプ場のある枕瀬山での活動を中心としたキャンプ事業を実施している。

今年度は「高津川の鮎づくしキャンプ」「とことん！川遊びキャンプ（日帰り・1泊）」「真夏のサバイバルキャンプ」と題して子どもも大人も津和野の自然環境を存分に堪能できるプログラムを企画した。



NPO法人ミライノタネ サマー・キャンプ 2024 コース詳細

日程	高津川の 鮎づくし キャンプ 日帰り	とことん！川遊び キャンプ	真夏の サバイバル キャンプ
	親子で日帰りコース	1泊2日ワクワクコース	1泊2日
7/21 (日)	① 7/28 (日) ② 8/11 (日)	7/26 (金) ~27 (土)	8/3 (土) ~4 (日)
コースの特徴	地元の漁師さん 協力のもと、 豊かな体験ができる のがこだわり！	涼満もあるので 小さなお子様の子でも 楽しめるコース。 宿泊は不安な子も まずはお試して！	ミラネキキャンプの 定番、大人気コース。 初心者の方も リピーターも 何回来ても楽しょ！
できること	鮎釣り・かわいらしい魚釣り △大人だけの参加OK	△初心者OK △家族での参加OK	★ 沿川ハイキング △保護者ランチ完全会員あり
定員 (先着順)	20名	20名	30名
集合解散時刻	集合 9:30 解散 16:00	集合 9:30 前段 15:00	集合 9:05 お子様だけで汽車集合OK 解散 15:15
金額	2000円/名	6000円	12000円
NPO法人ミライノタネ 株式会社住建ハウジング			
※高津川の鮎づくしキャンプは、高津川日原地域の鮎の釣り文化を次世代に広めるために、 株式会社住建ハウジングよりいただいた寄付金で運営するため、食材費等実費のみ頂戴します。			



～過去参加者の声～

思いっきり遊びができたよ。長かったです。
遊び・楽しさ

くたくたになるまで楽しめました。
子どもも主体で考えることができました。
安心・愛着

そのままのことを教えてもらえたよ。嬉しかったです。
扶養・経験

スタッフに支えてもらって色々な経験ができました。
気持ちをしっかり育ててもらえて、安心して預けることができました。
心のこもったおもてなし、丁寧な対応ありがとうございました。

「高津川鮎づくしキャンプ」（7/21 予定→増水のため中止）

清流高津川の昔から守られてきた文化の一部として「鮎の友釣り」を体験してもらいたい気持ちから毎年実施をしてきたが、遊漁券や釣り道具など高価なものが多く、どうしても参加者負担が大きいことが課題だった。今年度は津和野町出身の方からの寄付をいただき、参加費を抑えて提供することができた。参加費が抑えられたことでチケットは一瞬で完売した。しかし、実施間近で川が増水しイベント実施は危険と判断し開催は中止となった。

「とことん！川遊びキャンプ」（日帰り 7/28、8/11 実施 1泊2日 7/26～27 実施）

親子で参加できる日帰りのキャンプを2回、子どもだけの参加の1泊2日キャンプを1回実施した。

～親子で日帰りコース～ では、川遊びや飛び込みはもちろんのこと、鮎のつかみどりや川魚釣りやガサガサもできるプログラムだった。昼食はつかみどり後に串に刺し塩焼きした鮎を提供した。

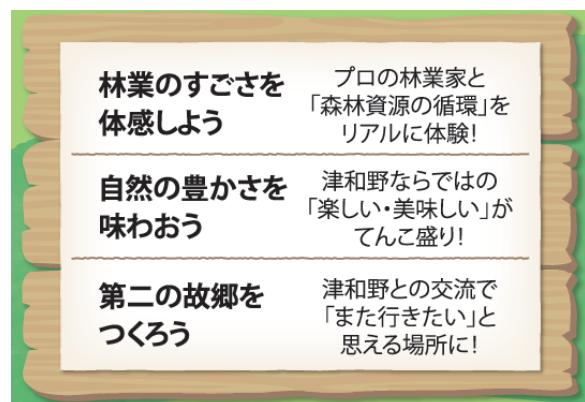
～1泊2日ワクワクコース～ では、川遊びだけでなく、キャンプ場での火おこしや、虫探し、鬼ごっこ、星空観察、テント泊など子どもたちにとっては親御さんから離れ、まるで冒険のような非日常を味わってもらうことができた。また解散前の昼食は、保護者の方も交えたランチ交流会を行い、キャンプ中の子どもたちの様子をスタッフからお伝えし、子どもの成長やたくましさを共有する場となった。

「真夏のサバイバルキャンプ」（8/3～4 実施）

サバイバルキャンプでは、川遊びなどの通常のキャンプに加えて、本格的な火おこしや自分たちで野生の食材を探すなどよりワイルドなプログラムを提供した。河原で食べられる野草を探したり、日中釣った川魚を餌に川に針を仕掛けて漁をしたり、様々なレベルの火おこしに挑戦したり、キャンプ場でバッタを捕まえて天ぷらにしたり、仕掛け罠で獲れたすっぽんをさばいたり、サバイバルキャンプでしかできない体験が詰まった内容となった。

b. 文京区つわのこどもキャンプ

令和5年度より継続している文京区つわのこどもキャンプ。今年度は8月24~26日の2泊3日、定員は20名で開催予定をしていた。



森林がもたらす豊かな自然の中で様々な体験を通して、津和野の森林の価値と林業にかける大人の思いを感じてほしい。そして、人との関わりの中で津和野を故郷のように感じてもらいたい。そんな思いでプログラムと行程を作成した。

文京区つわのこどもキャンプ2024 行程

1日目 (8月24日 土)			2日目 (8月25日 日)			3日目 (8月26日 月)		
萩・石見空港	1010	萩・石見空港到着	キャンプ場	0630-0700	起床	キャンプ場	0630-0700	起床
	1010-1100	移動		0700-0830	共同調理 朝食(ご飯、味噌汁、野菜炒め)		0700-0800	朝食(ホットドッグ、スープ)
	1050-1130	はじまりミーティング		0830-1200	森林遊び、植樹 都会と田舎の比較WS		0800-0930	テント片づけ・荷物整理
	1130-1245	昼食(スタミナ弁)	友好の森(徒歩)	1200-1300	昼食(弁当)		0930-1100	バイオマス発電所見学
	1245-1330	テント張り		1300-1700	林業体験 伐倒、チェンソー、薪割り体験		1100-1200	森林関係者トーク
	1330-1700	川遊び・鮎のつかみ取り		1730-1830	ドラム缶風呂・シャワー		1200-1300	昼食(猪肉BBQ)
キャンプ場	1700-1830	ドラム缶風呂・シャワー	キャンプ場	1830-1930	夕食(カレー、釣った魚)		1300-1400	ふりかえりミーティング
	1830-1930	夕食(カレー、釣った魚)		1930-2100	天体観測		1420-1630	ブドウ園見学
	1930-2100	天体観測		2100-2130	キャンプファイア		1630-1810	搭乗手続き
	2100-2130	就寝準備		2130	就寝		1810-	お土産購入・軽食配布
	2130	就寝						萩・石見空港出発

また、参加が確定した子どもとその保護者に対して、文京区役所内にて
7月12日（金）18:00～、7月13日（土）10:00～、の2回に分けて事前説明会を開催した。



準備は万全にして来町を待っていたが、キャンプ実施の二日前に、キャンプ場で熊の出没情報があり、それを受け文京区が急遽開催の中止を判断する結果となった。

この文京区キャンプ中止の判断を受けて、行政からキャンプ場運営者に対して、利用者に熊をおびき寄せない安全な利用の仕方を案内することの徹底と、「夜間食べ物を屋外に放置しない」などのルールが書かれた看板等も設置するよう注意喚起がなされた。

c. クヌギを使った森林資源循環を体感できるプログラムを確立し、町の教育プログラムとの融合を目指すプロジェクト

令和4年度より取り組んできた「しまね環境保全活動助成金」を活用した事業。今年度は同事業の3年目となり、町の教育環境としてのフィールド整備から、プログラムの実施、パンフレットの作成まで行った。

① フィールド整備

ア) 赤木クヌギ林：11月16日、20日、12月4日、7日、9日、10日、12日の計7日、草刈り等



令和4年に植えたどんぐりが、3年目に1mを越える苗の大きさに成長。ここまで大きくなると、根が十分に広がっているためこの後の成長はぐんと早くなる見込み。

また原木しいたけのほだ木として利用するために伐採しても、根株から萌芽更新するため、永続的な資源となり得る。

イ) クヌギ育苗畑：2025年1~3月に柵やシイタケ小屋の設置



柵が設置されたことで、保育園児が活動する際にも安心できる環境になった。また、原木しいたけを育てる小屋を設置したので、獣害を気にすることなく、冬場でも栽培が可能となった。

② 森林教育プログラムの実施

様々なプログラムを創出し組み合わせながら実施し、津和野町が森林資源の循環と活用を体感できる町となること、そして社会教育や学校教育への導入を目指したモデルプログラムとして実施した。

社会教育や学校教育としての導入のためには、町内のどんな家庭の児童でも参加しやすい参加費にし、かつ町内の子どもや保護者の参加後の反応を調べる必要があった。そこで「津和野町森林環境教育支援事業補助金」を活用することで、町内の子どもたちの参加費が半額以下になるように提供することができた。



「もりもりマスターキャンプ～ミニ地球＆遊具づくり編～」（9/22 実施）

藤原講師より地球の循環について話を聞いた後、参加者それぞれでミニ地球を作った。



「もりもりマスターキャンプ～原木シイタケ＆クワガタ養殖場づくり編～」（10/27 実施）

参加者は原木シイタケの駒うちをしたのち、養殖場の壁となる板に防腐剤を塗り、養殖場作りをし、7月に友好の森に移動させておいた廃ほだにクワガタ等の幼虫がいないか、食痕をたどりむしりながら探しした。いろんな種類の幼虫が見つかったが、その中にはクワガタの幼虫を食べる幼虫もいるため、クワガタの幼虫のみ6匹程度を養殖場に移した。また今回は初めての試みで、幼虫がないことも考えられたため、カブトムシの幼虫を30匹購入した。購入したカブトムシの幼虫も含め養殖場に置き、住処であり食料となる廃ほだを上から入れ養殖場を完成させた。

その後、友好の森敷地内のクヌギを植樹できるよう整備したエリアにクヌギの苗を30本植樹した。



③ クヌギを活用した「0歳児からの人づくり」パンフレットの作成

12月にパンフレットの大まかな内容を作成し、大まかな内容を示して、教育委員会や農林課、一般財団法人つわの学びみらいなどと協議を重ね、2月にパンフレットを完成させた。当初は、後援や協力の一覧に、津和野町や教育委員会、農林課なども入れたいと考えていたが、協議の結果、民間の団体だけで表記することに決めた。都市部ではNPO法人等民間の団体が自主的かつ積極的に教育活動を行っており、その実績を見込まれ、行政等から事業委託を受けるといった流れがある。島根県西部ではどうしても力のあるNPO法人が少ないためか、教育の分野において、実績を見込まれて行政から委託を受けるという例が少なく、法人の立ち上げ当初から行政主導であったり、行政の委託ありきの法人であったりする。私たちNPO法人ミライノタネは立ち上げから民間主導であり、これまで着実に実績を積み上げてきた。この実績をもとに、先々教育事業の委託を取っていくカタチを目指したい。

パンフレット（A4・見開き6ページ）

令和7年度に小中学校や保育園を回り、教育委員会とつわの学びみらいの教育コーディネーターとともにパンフレットの説明と授業への活用の在り方を模索していく予定。

1.2 学生・若者・子育て世代のキャリア形成を支援する事業

ミラタネが実施する小学生向けイベントは、近隣の高校生や大学生、町内の若者がボランティアスタッフとして子どもたちのリーダーとなり活動できる機会と位置付けている。野外活動のスキルや安全管理についての研修に参加してもらい、現場で子どもと関わるなかで、学生若者たちにとっても学び育ちを得て、自身のキャリア形成支援に繋がる機会となっている。

今年度は、津和野高校や関連する大学生に加えて、新たに島根県立大学 BSS サークルと接点を持ちサークル活動の一環としてのスタッフ参加が実現した。次年度以降 3 年間をかけて、島根県立大学、近隣高校と連携した学生の自然体験キャンプ体験とスタッフ参加を含めた島根県西部地域若手人材育成の研修プログラム作りを行う予定。

高校生や大学生がこれまでのプログラムからさらに発展させた体験プログラムを体験したりボランティアスタッフ等を通して地域課題や自然課題も含めて学びを深めたりしながら、将来的には子どもや学生だった参加者たちがいつか地域人として親としてこの環境の素晴らしさや価値を受け継いでいけるような、そんな西部地域らしい地域人づくりのプログラムの確立を目指す。

2 事業の成果

2.1 津和野町の自然の価値を大人にも子どもにも高い満足度とともに体感してもらうことができた

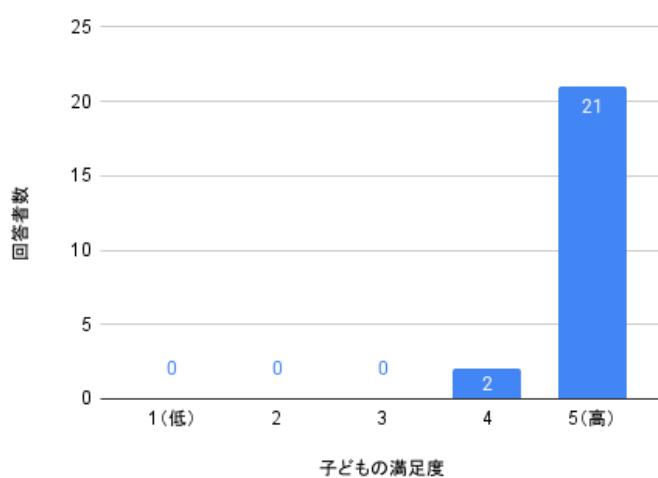
アンケート結果をもとに満足度と感想をまとめた。

1.1.a.夏休みサマーキャンプ

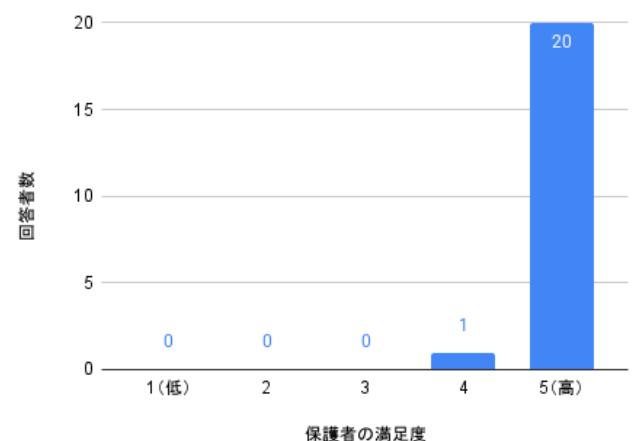
「とことん！川遊びキャンプ」（日帰り 7/28、8/11 実施 1泊2日 7/26～27 実施）

～親子で日帰りコース～

子どもの満足度

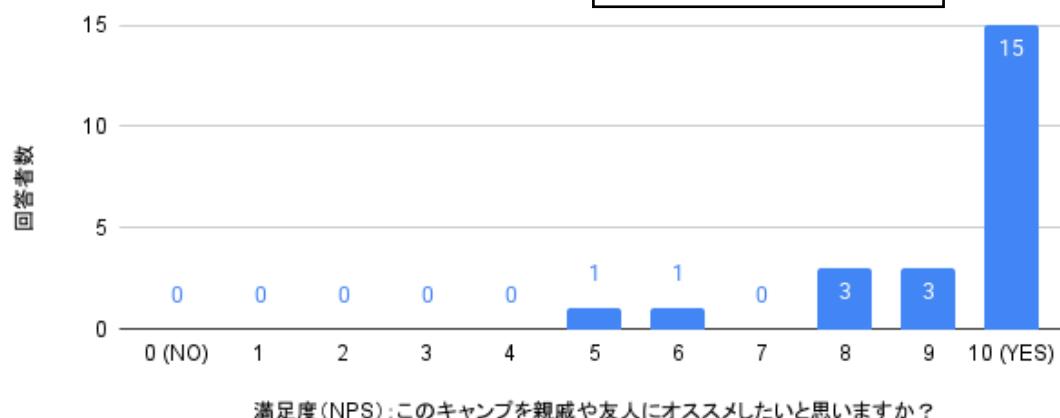


保護者の満足度



満足度(NPS)

$$N P S = 69.5 \text{ pt}$$



満足度(NPS):このキャンプを親戚や友人にオススメしたいと思いますか？

«保護者感想：日帰り川遊び»

- 最初親から離れなかったが、次第に子ども同士で遊ぶようになり数時間でも成長が見られた。
- 山口市は遊泳禁止なので、子どもも大人も川遊びできて最高でした！いつも22時に寝る子どもが20時には爆睡してました 😊
- 今の世の中の子どもたちはデジタル化社会の環境で育っているため、なかなか自然と触れ合う機会がないので自然の中での遊びは子どもたちにとっていい刺激になり、きっといい思い出として心に残ったと思います。
- スタッフの方がほんとに優しく、子ども達に接してくださりありがとうございました 😊 子どもに合わせ

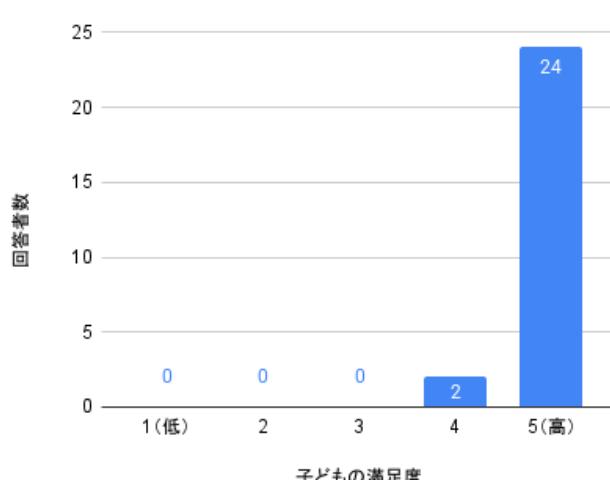
て教えてくださいといい経験ができたと思います。

- ・子どもの川遊びの仕方が、1年前に比べて随分とたくましくなっていて驚きました！
- ・いきなり家族だけで川デビューは心配なところがあったので今回のキャンプで再確認できる点もあり参加して良かったです。子どもは学校プールではできない飛び込みが楽しかったようずっとやっていました。
- ・川の良さが知れて良かったです。安全面に配慮してくださり、大人も心から楽しめました。童心にかえれました。
- ・川や海遊びは親が子どもを見ないといけないという責任感のほうが勝って、なかなか親が遊びを楽しむ事がありませんでした。今回、スタッフの方や周りの参加者の方がいること、安心して泳げる川、少し目を離しても大丈夫と思える親の心のゆとりを持つことができ、私自身も思いっきり楽しむことができました！ただ川に浮いて身を任せて流されるだけでこんなにもヒーリング効果があるんだと気づきました。
- ・ライフジャケットを着用し安全に楽しめた。
- ・子どもが鮎などを掴み取りをしていて、とても楽しそうでした。
- ・川の良さも危険性も教えてくれた上で、安全な遊び方を教えてくれたことがよかったです。お昼ご飯がすごく美味しかった！焼きたての鮎は最高でした。

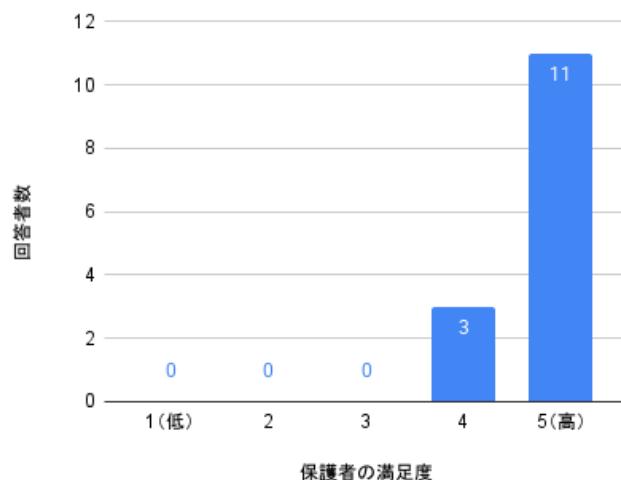
～1泊2日ワクワクコース～

☆アンケート結果 (参加者子ども 30名、ランチ交流会参加保護者 6名)

子どもの満足度



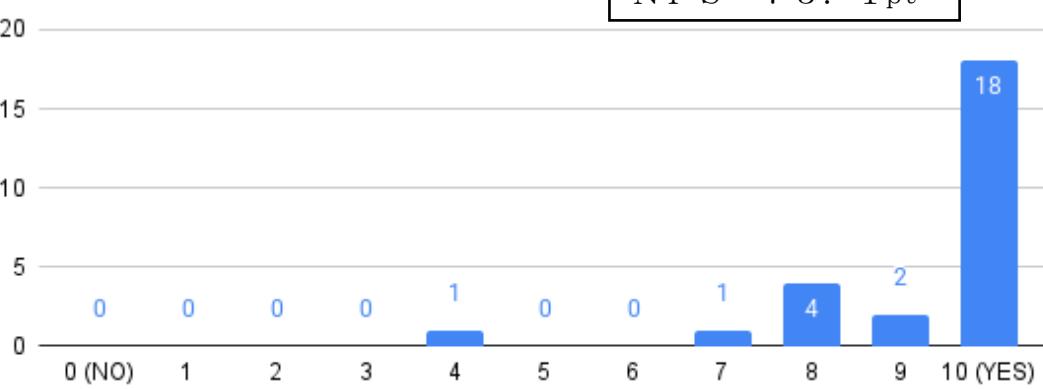
保護者の満足度



満足度(NPS)

$$N P S = 7 3 . 1 \text{ pt}$$

回答者
回数



満足度(NPS):このキャンプを親戚や友人にオススメしたいと思いますか？

心に残ったことは？

- ・鮎の塩焼きがすごいおいしかった
- ・火の着け方がわかった。頑張って火をつけたり飛び込みをしたことが心に残った
- ・最初は飛び込みができなかつたけど出来るようになったこと
- ・他の人と仲良くなれたこと
- ・①溢れる星空 ②真上に見える虹 ③滅多にお目にかかれないとまむし
- ・①飛び込み ②川遊び ③テントで寝たこと"
- ・火遊びでマッチを使えるようになったのが嬉しかった！大満足！
- ・県外の友達と関わる事ができて楽しかった。川で飛び込みした事が楽しくて、思い出になった。
- ・川で鬼ごっこで人をいっぱいつかまえてよかったです

『保護者感想：1泊2日川遊び』

- ・子供からの参加を通しての感想や、喜んだ姿を見て大人が機会を与えるとまだまだ子供の可能性を伸ばせるように感じました。共働きが多いご時世なので、このような機会があることがとても素晴らしい事と思っています。今後はこのキャンプの参加者がスタッフとなり、循環できる仕組みができると素晴らしい事と思います。今後の活動にとても期待しています。
- ・楽しい自然遊びを経験させてくださいありがとうございました。子どもたちの楽しかった経験は大人になっても思い出になるし、やりたくなると思います。
- ・息子がグループの子全員と仲良くなれたことや、マムシを食べたことなど、目をキラキラさせて話をしてくれました。ミラタネキャンプ翌日から家族でキャンプに行ったのですが、火を自分で点けようと挑み、ご飯を見事に炊き上げました。毎食火のそばで見たり体験していましたので、身についていて驚きました。片付けも積極的にしていて、ミラタネのキャンプで成長したのだなと感じました。
- ・お迎えに時に大変満足した子ども達に会えて親も嬉しい気持ちになりました。自分達で考えてやってみる、その中で出会う知識や感情は学ぶ喜びそのものだったようです。
- ・なかなか家庭ではやりきらない遊び。もともと体験させたかった遊びなので、自然あそびはとても有難いです。この猛暑に安全に終了していただき、本当に有難うございました。
- ・保護者参加の交流会ではスタッフの方の思いや、子どもの様子を聞くことができ、ありがたい機会でした。娘は自分で思い立ち、申し込んだので、グループごとに学生リーダーがいてくださって、とても心強かったです。
- ・私自身は自分が田舎出身で、田舎にあまりよいイメージを持てないまま育ってしまいました。今回のようなキャンプに参加して、ミライノタネの活動に関わっていくことができたら、田舎や自然のよさを肌で感じ、子供たちの（大人もかもしれません）心の中に残っていくのだろうと思いました。娘にとって貴重な経験となりました。
- ・一番は、安全に楽しく色々な経験をしてくれることです。今回は娘にとって人生初めてのキャンプで、行くことが決まってから出発の日までずっと楽しみにしていました。笑顔で見送って、笑顔で帰ってきてくれて、とても嬉しかったです。貴重な体験を企画していただき、本当にありがとうございました。
- ・なかなか自然の中で一夜を過ごす機会を作つてあげられないで、今回のようなキャンプ体験は本当に助かります！夏は川遊びが出来るけど、暑さが堪えます…春や秋に自然で思い切り遊べる企画があると嬉しいです。我が娘は高校生のお姉さんととても仲良しになりました。自分が高校生になった時に今度はスタッフとして参加したいと思ってくれたら良いなと思います。
- ・温かい雰囲気の中に参加させていただき、子ども自身安心して参加できたと思います。楽しい夏休みの

思い出ができました。ありがとうございます。

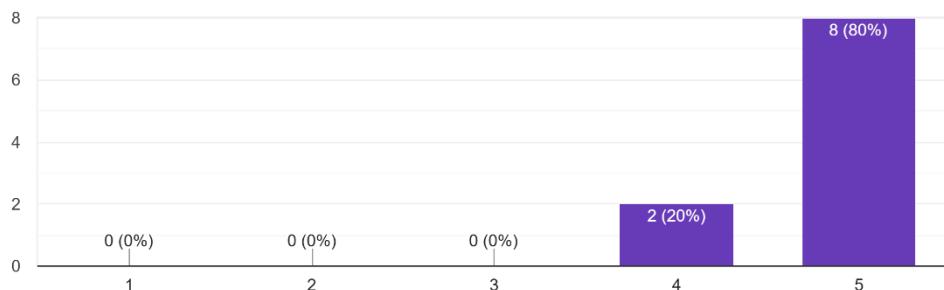
- ・川遊びでの安全を守るために、徹底しておられるなと感じました。これからも事故のないよう、そして子ども達が心から楽しめるよう、よろしくお願いします！

「真夏のサバイバルキャンプ」（8/3～4 実施）

☆アンケート結果（参加者子ども 13 名）

お子さまの満足度を教えてください

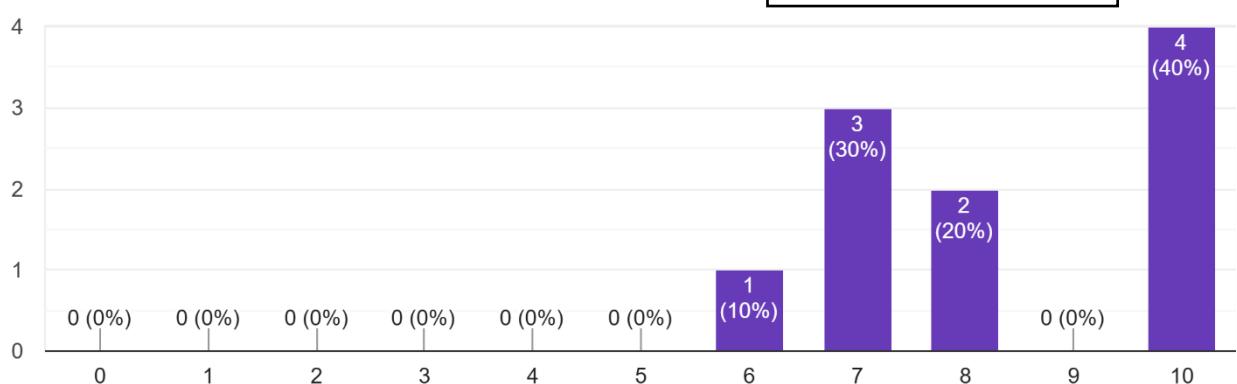
10 件の回答



このキャンプを親戚や友人にオススメしたいと思いますか？

10 件の回答

N P S = 3 0 . 0 pt



《子ども感想：1泊2日サバイバル》

心に残ったことは？

- ・川遊びが楽しかった事、新しいお友達ができた事、初めてバッタを食べた事（味は苦手だったけど…）
- 星3つの野草を食べたら辛かった事、真っ暗の中でした鬼ごっこが楽しかった事、キャンプファイヤーの火がきれいだった事、家が恋しくなったけど頑張った事
- ・スッポンを捕まえて食べたこと。スッポンは美味しかった
- ・川遊びが楽しかった
- ・すっぽん汁を食べた事。すっぽんはかわいそうだったけど、すごくおいしかった。
- ・すっぽんの解体が印象に残りました
- ・メタルマッチの名人になったので嬉しかった。新しい友達がたくさんできたので嬉しかった。高校生のお兄ちゃん達とたくさん遊べたこと
- ・自分で1時間かけて火起こしをしたのにお友達に火種を踏んで消されたこと
- ・野宿して蚊に50箇所刺されたこと

《保護者感想：1泊2日サバイバル》

- ・自然の中で思いっきり遊ぶという経験がなかなかできないので、この様なイベントを続けて頂けると
ありがたいと思います。2日間暑い中子供たちを見守ってくださりありがとうございました。
- ・手厚い見守りがあったと聞きました。暑い中、ありがとうございました。親や学校とは違う価値観に触
れることが出来たようで、成長を感じました。
- ・やりたいことを最大限させてもらえるキャンプはほかになく、娘もとても喜んでいたので素晴らしい機
会だと思う。冬も行きたいそうです。
- ・普段体験できないことが出来て楽しかったようです。
- ・息子が嬉しかった。楽しかったと言って帰って来るので、嬉しかったです。
- ・熱中症アラートが出て、世の中の動きとしては中止や延期となつてもおかしくない中で、子供の体験の
ために細心の注意を払って開催いただいたことに大変感謝いたします。今回も親ではできない貴重な経
験をさせていただきましてありがとうございました。

2.2 津和野町の豊かな自然環境の特徴と、それを取り巻く様々な課題に対する取り組みについて、分かりやすく説明紹介する資料が作成できた

1.1.b. 文京区キャンプはちゅうしとなったものの、文京区への事前説明会に向けた資料を作成したことで、町内の子どもたちにもわかりやすい説明資料が出来上がった。

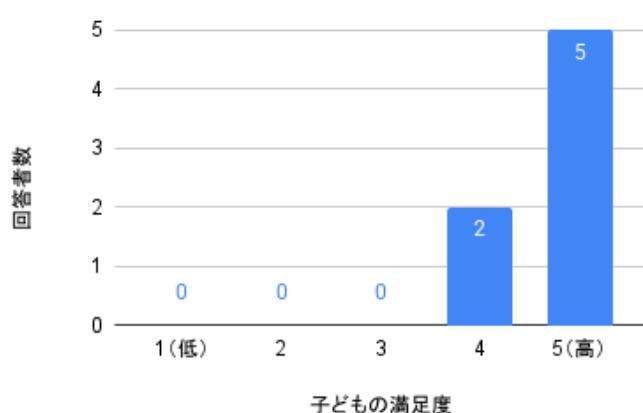
2.3 町内の児童保護者に対して森林を教材とした学びの環境づくりを体感してもらうことができた

1.1.c. モリモリマスターキャンプでは、町の補助金も活用することで町内の児童保護者に通常よりも安い参加費で提供することができ、これまでになく町内の参加者を増やすことができた。

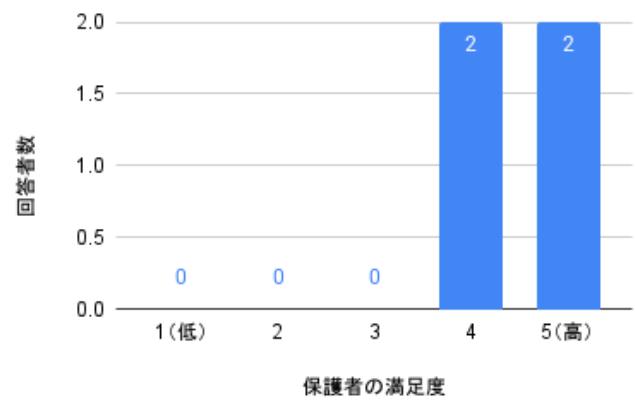
「もりもりマスターキャンプ」（9/22、10/27 実施）

☆アンケート結果（9/22、10/27 合算）

子どもの満足度

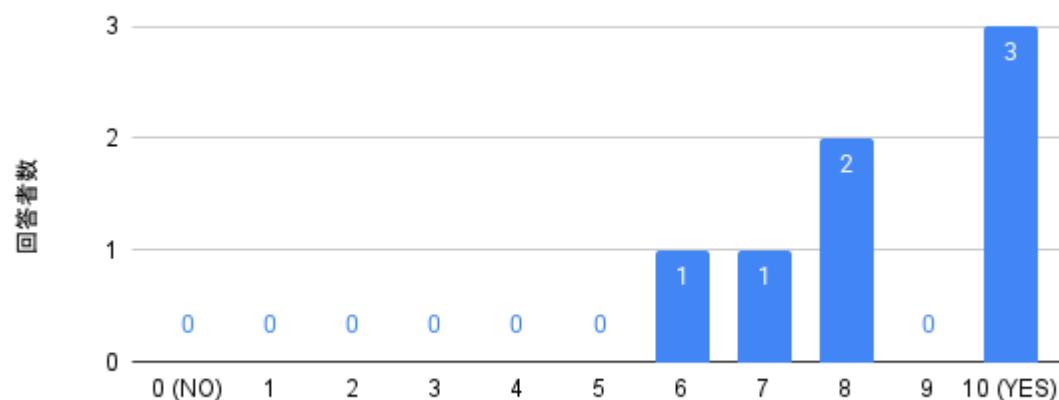


保護者の満足度



満足度(NPS)

N P S = 2 8 . 5 pt



満足度(NPS):このキャンプを親戚や友人にオススメしたいと思いますか？

«子ども感想»

- ・遊具作りがとても楽しかった。
- ・木から幼虫を発見したことが1番うれしかったようです
- ・オリジナルのテント作りが楽しかったみたいです！

«保護者感想»

- ・終わったあとも楽しかったねーと言っていました。これからどんどん考え遊びも増えると思います。
小さな遊び場になれば気軽に遊びに行けると思うので、大変かと思いますがこれからも頑張ってほしいです
- ・中学生や他の子供と仲良くなり遊んでいたので嬉しかった
- ・普段山や森には行かないで大変貴重な体験が出来て良かったと思います。
- ・今回初めて参加でしたが、期待以上に楽しかったようで、参加してよかったです！鮎も大好きなので、また機会があれば夏にも参加したいです！
- ・今回は子供だけで参加させて、少し不安でしたが、楽しかった！と笑顔で帰ってきて安心しました。
- ・普段できない遊び、ごはん、経験がてきて、子供たちも大人も満足な1日だった。

2.4 クヌギを活用した新たなプログラムの開発が実現

原木シイタケの廃ほだを昆虫マットとして活用し昆虫養殖場作りができたのは、森林資源の新たな活用法を見いだせたことになり、今後町として様々な活用を模索し経済活動につなげることが可能な一例となつた。

2.5 町の特性を活かした具体的な教育プログラムの可視化

クヌギの循環プログラムを完成させることができたことは大きな成果であり、パンフレットを作ったことで津和野町の特性を活かした教育モデルの一つとして可視化することができた。今後の津和野町の森林を活用した自然教育環境を作っていく大事な1歩となつた。

2.6 遊び場として、資源として活用しやすいフィールド整備

今年度も友好の森にクヌギを植樹することでクヌギが多くなつており、昆虫養殖場などもできた。また今後も枯れていて危険なナラ木などを伐採し、新たにクヌギを植えたり、原木シイタケのほだ場を作ったり、薪棚を作ったりできればと考えている。少しずつではあるが、資源の循環が感じやすく、使いやすい森、遊びに行きたくなる森に生まれ変わらせていくことができている

2.7 関係機関との連携強化

パンフレット作製にあたつて、たくさんの関係者と協議する機会が持てた。農林課、教育委員会などの行政課はもちろんのこと、一般財団法人つわの学びみらいや各学校関係者、保育園ともつながることができた。そんな中で、「津和野町の民間の団体で“つわの教育ネットワーク”的なものを作れるといい。民間の社会教育団体で協力できればより充実するのではないか」といった発展的な意見も聞くことができた。団体同士がつながるきっかけづくりになつていると感じた。

3 今後の課題

・高津川鮎づくしキャンプは、寄付を活用し参加費を抑えることができたのはよかったです、各市町村でチラシを配るタイミングにズレが生じたために、一つの市からの参加者で申し込みが埋まってしまった。他のキャンプの参加費とのバランスも考えて、できるだけ多くの方に公平に参加していただけるように工夫する必要がある。

・サバイバルキャンプは、参加定員が20名に対し、13名にとどまった。参加者が定員に達しなかった要因として考えられるのは、川遊び1泊2日キャンプよりも2,000円高い参加費設定だったこと、リピーター向けに案内をしたこと、2,000円の金額の差が何なのかがチラシでは伝わりにくかったことなど。参加者が13名の場合、運営としては楽な部分はあるが、やはり人数が多いからこそその盛り上がりには欠けるところがでてくる。テーマと金額の設定については検討が必要。

また、サバイバルキャンプは保護者との交流の機会がないプログラムだった。最後まで子どもたちが熱中して活動することを重視したのだが、保護者が子どもの様子をスタッフと共有できる場が無いことが満足度にも影響しているのかもしれないと考える。

・文京区キャンプが熊の出没情報により開催中止となったことについて、自然と共に生活するうえで、野生の動物との共生が大事となる。津和野町でも夏の熊の目撃情報は多く、児童の登下校時は熊鈴や集団下校にするなどして対応をしている。また、イノシシやサルなどが民家の畠を荒らすことも多く、共生するうえでの課題があることは明らかである。ただ、「危険だから」という理由で子どもを自然から遠ざけてしまうことは、自然環境について考える機会を奪い、地域課題や持続可能な社会を考えることから離れてしまうことにもなると考える。今後も自然の危険にどう対処するか、どう事故やけがを予防するかは考え続け、子どもたちに自然体験活動を提供し続けていく必要がある。

4 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の日時、場所、従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(単位：千円)
①子どもの教育・子育て環境の充実を図る事業 a)夏休みキャンプ	川遊びキャンプ 鮎づくしキャンプ →中止 サバイバルキャンプ	令和6年7月21日～8月11日間でのべ6日間 枕瀬山キャンプ場・高津川のべ52名	鹿足郡、益田市、浜田市、山口市の小学生とその保護者 のべ120名	851
b)森林資源循環 文京区交流	キャンプ 森林資源循環を体感 町内の子との交流 →中止	令和6年8月24日～26日 枕瀬山キャンプ場・高津川 枕瀬山友好の森 のべ30名	東京都文京区の小学生5～6年生20名 および津和野町内の小学生10名 のべ30名	215
c)森林資源循環	森林資源循環を体感	令和6年9月22日、 10月27日 枕瀬山友好の森 18名	鹿足郡、益田市、浜田市、山口市の小学生と保護者 20名	817
②学生・若者・子育て世代のキャリア形成を支援する事業 a)若者・学生ボランティアスタッフ育成	キャンプ事業での高校生・大学生・若者等のボランティアスタッフ募集と育成	令和6年7月21日～8月11日の間でのべ6日間 令和6年9月22日、10月27日 のべ12名	近隣高校生、大学生、町内若者 のべ24名	0
③地域の資源、特色を活かしたイベントの開催等により観光や中山間地域の発展を図る事業 a)夏休み自主事業 b)森林資源循環 文京区交流 c)森林資源循環		①に同じ		
④その他目的を達成するために必要な事業		特になし		